

図表2-3-24 ▶ 移動型遠隔手術システム「モバイルSCOT」イメージ



出所：NTTドコモ『『同志』になれたから生まれた、遠隔手術のイノベーション。』

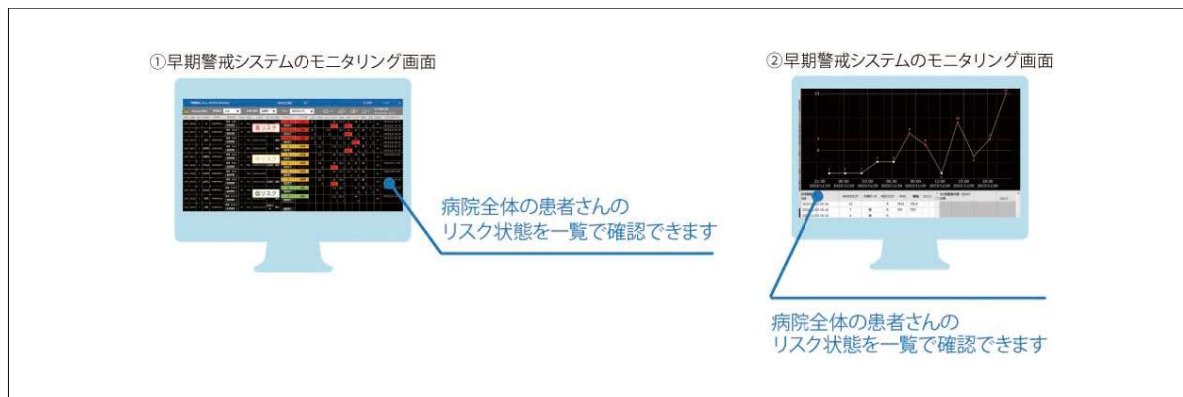
叫ばれて久しいが、未病段階での介入や生活習慣の改善により、病気の発症や進行を防ぎ、医療機関への受診や入院を減少させることが可能となると考えられる。さらに、早期発見、早期治療によって治療期間や重症化を抑えることは、医療費の適正化に加え個人の生活の質(QOL)の向上にも寄与する。

このような背景のもと、NTTグループは2019年7月、ビッグデータ解析による健康経営支援を目的として、NTTライフサイエンス株式会社を設立した。2020年には、同グループが培ったビッグデータ解析やAIを駆使し、疾患リスクや予防法を導き出す遺伝子検査及び生活習慣改善サポートサービス「Genovision(ゲノビジョン)」の展開を開始した。

このサービスでは、人間ドックなどの際に血液を採取(2022年3月からは一部で唾液検査にも対応)し、遺伝子検査を通じて約90の病気の罹患リスクや体質の傾向などのレポートを提供、さらに生活習慣改善の予防法などの情報提供を行う「Genovision Dock」や、生活習慣の改善のため利用者の実際の行動変容を促すべく、健康状態や活動量をデータ化し、適切なアドバイスを行う「Genovision Action」等のサービスが提供された。

【NTTプレジジョンメディシン】メディカル・ヘルスケアデー

図表2-3-25 ▶ 「早期警戒システム」イメージ



出所：NTT東日本 関東病院「入院中の患者さんの急変する可能性を早期に検知 医療者の“気づき”を支援する早期警戒システムの運用を全入院病棟で開始」(2024年6月21日)

タによる個別最適治療法支援

2024年7月には、NTTライフサイエンスを母体とする新会社、NTTプレジジョンメディシン株式会社が発足した。同社は実臨床で得られる患者のリアルワールドデータを含むメディカル・ヘルスケアデータを活用し、患者一人ひとりの体質や特性に最適な治療法を提供する「プレジジョンメディシン」の実現をめざしている。そのため、さまざまなメディカル・ヘルスケアデータを統合的に収集し、世界中の製薬会社や研究機関などがセキュアかつスムーズに活用できる「Japan プレジジョン・メディシンプラットフォーム」を立ち上げ、提供している。このサービスを通じて、新薬の開発や治療法の革新が一層加速し、医療分野全体の進化と患者ケアの更なる向上に寄与することが期待されている。

【NTTデータ】社員データ活用のパーソナライズド健康サービス実証

NTTデータは、食と健康に関する新たな取り組みとして、「Food & Wellness PoC環境提供サービス」を展開している。同サービスは、自社社員約1,200名の健康診断データやゲノムデータを利用し、食と健康のパーソナライゼーションに関する有効性の検証を企業に提供するものである。企業はモニターやデータを独自に準備する必要がなく、迅速かつ効率的に実証実験(PoC)を行うことが可能となる。また、ゲノムデータなどの詳細な健康情報を活用することで、個々の特性に応じたパーソナライズドサービスや商品の開発を加速できるメリットがある。このサービスを通じて、NTTデータは企業の新規企画や研究開発を支援し、健康分野における新たな市場創出や生活者の健康増進への貢献をめざしている。

②遠隔技術と高度医療の可能性を広げる挑戦(治療・施療)

【NTTドコモ・東京女子医科大学】5Gを活用した移動型遠隔手術支援システム